

今日のわだい

- 【1面】憲法を活かそう～第36回女性集会
原発をなくせ！NO NUKES DAY
- 【2面】伊藤千尋先生・記念講演
- 【2面】13春厚労省交渉・沖縄平和ツアー

全厚労ニュース

全国労働組合連合会

〒110-0013 東京都台東区入谷
1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月 20日
定 価 30円

いまこそ「活憲」へ。
一人が動けば社会は変わる第36回
女性集会

6月7～8日、全厚労は、第36回女性集会を京都国際ホテルで開催し、17県から105名が参加しました。「平和・憲法」をテーマに3回目となった今回は、朝日新聞記者・伊藤千尋さんから世界の取材から見える「日本国憲法」の先進性を聞き、立命館大学・国際平和ミュージアムの見学で、普段なかなか考えることのない憲法や核兵器の問題を知り、日常にこそ憲法を活かすことの大事さをみんなで学びました。

冒頭、渡辺執行委員長は、「36年に渡る女性集会の歴史と運動のバトンを受け継ぎ、次世代に引き継いでいくって欲しい」と主催者挨拶。折笠女性委員長は、「福島は変わっていない。現状を発信していきたい」と述べるとともに、新潟県巻町での原発建設をめぐる住民投票を描いた映画『渡されたい』と話しました。

憲法を身近に、軍事よりも教育を

伊藤千尋さんの記念講演では、「日本は原発に頼る必要はなく、政府機関が公表した自然エネルギーの試算でも地熱発電で原発の20基分が作れる」、「風力など自然エネルギーにおける日本のポテンシャルは相当高く、政治決断でエネルギーシフトしていくかどうか」と語られました。また

判ができるようになっているなど、驚きの事実が紹介された。

(2面に講演要旨)

いま憲法が危ない！選挙に行こう

基調報告では、「被災地の復興・再生そっちのけのなかで、政府与党・自民党の夏の参院選公約では、『憲法改正』が挙げられている。『96条改正』先行が世論の批判を受けてトーンダウンしているものの、取り下げている訳ではない。自民党改憲草案を読むと『天皇の元首化』『国防軍の創設』の他、『基本的人権の原則』を定めた97条の全面削除を

何か一つ自分に出来ることを

その後の分散会では、講演の感想や身近な事で「憲法がないがしろにされていることはないか」、「一人ひとりが出来ることはなんだろうか」をテーマに交流しました。

恒例の夕食交流会では、

再稼働反対！輸出やめろ！福島を返せ！

NO NUKES DAYに6万人の声

「脱原発」「反原発」を掲げる3つの団体（原発をなくす全国連絡会、1000万人アクション、首都圏反



国会前では全国各地から脱原発めざす人々が集まった



浜岡原発廃炉署名を集める静岡のブース

原発連合」が共同して取り組んだ「6・2 NO NUKES DAY」が、6月2日、東京都内や官邸・国会前で終日取り組まれ、全体で延べ6万人が集会やデモ、抗議行動などに参加しました。

労働組合や民主団体などで構成する「原発をなくす全国連絡会」は、11時から明治公園に1万8千人が集まって集会。会場には原発



ならぬものはならぬです！と熱演(福島)

福島は、「八重の桜」の扮装で寸劇を披露、TTP参加や「憲法改正」など、「ならぬものはならぬです！」と力強く訴えました。

2日目は、全体会で分散会の報告等を行った後、立命館大学・国際平和ミュージアムに移動。ボランティアガイドのみなさんの説明で核兵器が作られ増え続けてきた社会的背景などを学びました。

集会まとめでは、「労働基準法や労働組合の運動が保障されているのも憲法があつて平和であるからこそ知ったからには行動しよう。参加者一人ひとりが、来年までに何か一つのことをやりとげた成果を持ち帰ろう」と呼びかけました。



廃棄物ドラム缶とドラム隊を先頭にデモ

を抱える県からや女性、農民、平和団体などのブースが立ち並び、廃炉署名や物販、ミニシンポなどが行われていました。集会後、3つのコースに分かれてデモ、官邸前・国会前行動に合流し、夜7時まで訴えが続きしました。

13春・厚労省交渉 地域医療を守れ！福島再生を早く

5月17日、全厚労は13年春の厚生労働省交渉を行い、全国から25名が参加しました。今回の交渉では、これまでと違って大きく4つの要請事項に絞りました。いずれもへき地・中山間地を抱える厚生連にとって重要な内容となるものです。

【要請内容】

1. へき地医療を担う公的病院（厚生連）への経営安定化策
2. 中山間地・へき地における医師確保対策
3. 大震災・原発事故の影響を抱える福島の医療・介護再生
4. 療養病床の確保・維持

第1の項目では、厚労省は「へき地医療拠点病院には、支援の状況に応じた補助を行っている。赤字だからと言って補填するのでは経営努力をそぐ結果となってしまう」と新たな財政措置については否定的な回答。交渉団からは「拠点病院への補助と言っても僅かな額

で結局持ち出しになってしまふ。病院自身が医師・看護師不足の中、医師派遣を行っている」「公立病院では最終的に税金で補填されるが、厚生連ではそうはいかない。慢性的赤字になってまで不採算医療は続けられない」「地方の医療機関は財政援助なしに成り立たない」等と追及しましたが、厚労省は財政状況を理由に明確な返答は避けました。

第2の項目では「患者の病院へのアクセス改善にドクターヘリや患者搬送事業、遠隔医療や患者宿泊施設整備事業などを行っている。また厚労省学術研究班の報告に基づく『へき地勤務医師へのキャリアデザイン』を各県のへき地医療支援機構の下で進めてもらうようにしている」と回答。

交渉団は「医者そのものがないし、ドクターヘリは夜や悪天候では飛べない。へき地勤務医師のキャリアデザインと言っても、県ま

かせでは人材確保は出来ない。医学部教育の問題含め、国の財政と方針で進めて欲しい」と訴えました。

第3の項目では、「地域医療再生交付金」を介護分野への活用含めて柔軟に対応して欲しいとの要請には、「あくまでも医療再生を目的にしているが、被災地域では仮の医療施設や人材確保など幅広く使えるようにしている。執行されてい

いからと言って医療以外の用途に使ってしまうと、仮に被災地が復旧した場合に、地域医療確保に困難が生じる」と回答、「介護・福祉分野については別途、他の予算で要請して欲しい」と答えました。

しかし一方で、介護施策として、担当者は「地域支援合い事業」や「福祉・介護人材確保事業」などの話をしましたが、現実には地域で必要とされる介護施設整備や、介護職員の確保、住宅確保などについて実際



福島の現状を訴える折笠さん（右）

に適用できるものではなく、政府自身が「医療・介護連携」を打ち出しながらも、予算の縦割りと地域の需要に対してマッチングしていない現実が明らかになりました。

交渉団は、「原発事故被害という特殊性を考慮して対策をとって欲しい。従来の枠組みの考え方では間に合わない。現地の必要性に応じて使える予算確保を含め、対応して欲しい」等と重ねて強く要求しました。

第4の項目では、「医療療養病床を削減するつもりはない。介護療養病床の機械的削減は行うつもりはないが将来の廃止方針に変わりはない」とこれまで同様の回答でした。

交渉団からは「高齢者の医療度は高くなっており、後方施設も足りない。在宅は家族の負担も高く、介護難民が増えている。介護療養は必要なので転換も進んでいない」などと訴えました。担当者は「意見は受け止めて調査・検討をすすめます」としました。

震災対応をもっと柔軟に

今回初めて厚生労働省交渉に参加する機会を頂き貴重な経験をすることができました。当日は厚生労働省に出向く前、各県連から参加するために集った代表者達で交渉にむけて打ち合わせを行いました。それぞれの意見等を短い時間で確認して取りまとめなければならず、全国組織での意見集約の大変さを感じました。

午後から厚生労働省に行きましたが、建物に入ると言うだけで緊張感があり身が引き締まる思いでした。

今回交渉にあげた4点についてはどれも各地域の厚生連が抱えている問題であり、地域医療においては大事なことだと思えます。その中でも私が印象に残るのは東日本大震災における原発事故の影響が大きい福島県の

介護現場の声を伝えて

厚生省交渉に初めて参加させて頂きました。

交渉が始まり交渉団は、自分の県の状況などを踏まえて、それぞれ項目に分かれて病院にとつて、患者さんにとつて、地域の方々にとつて、そして働く私たちに何より良い医療なのか、どうしていいのかわからない強い思いが入った発言が沢山ありました。厚生省は発言に対して親身に話をきいてくれる方もいれば、中にはそうでない方もいたり、という感じの対応でした。

今回、私は初参加の上に初発言を任せられ、厚労省と聞くだけで、胃が痛くなる思いでした。私の発言した内容は、介護療養病床の項目について、リハセンターの現状をふまえて介護療養病床の必要さ、現場の声を伝

北厚労 金沢 結美

沖縄全体が「治外法権」状態

人殺し集団はどこにもいない！

5月31日～6月2日、日本医労連の「第23回沖縄平和ツアー」が開催され、全厚労からも3県から10名が参加、全体で65名が沖縄の現状と歴史を学びました。

最初に訪れたのは、オスプレイが配備された「世界一危険な」普天間基地を望む嘉数（かかず）高台。オスプレイが飛ぶところは見ることは出来ませんでした

が、基地周辺に住宅や学校が密集しているところが望めました（写真上）。沖縄本島北部（やんばる）の高江では、座り込みを続けて3000日以上となるテントを訪問、現地の人たちに「寄せ書き」とカシパを手渡しました。高江は米軍基地に囲まれており、訓練では森をジャングルに見立て住民らを仮想標的のように扱っているそうです。



嘉数高台から望む普天間基地。オスプレイが駐機していた。

中にも銃弾の音がして、「米軍の実戦訓練がすぐそばで行われ、銃撃音が聞こえ、砂浜に残る戦車の跡が現実であることに衝撃を受けた（埼玉・栗原さん）」「辺野古ビーチの天をも突き刺すような鉄柵と、今まで耳にしたこともない炸裂したような音に驚いた。米兵訓練と知った時にはその音に身体に震えと恐怖を感じました（三重・秦さん）」という感想も。



高江にて。米兵に向けた英語・日本語の看板が立ち並び。

沖縄に7回も来ているという砂さんは「事件や事故のことは、テレビの報道でしか知らなかったの、実際ここで国とたたかっている人の話を聞いて、もっと全国にその声を発信できると良い。私もその一人になりたいと思っています」と決意を語ってくれました。

帰って来た 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第76回は神奈川と大分をお願いします。

全厚労の仲間のみなさんこんにちは、
神厚労副委員長の糸島です。長期に渡った不当労働行為も平成19年9月に裁判で勝利和解したはずでしたが、現場では、特に相模原では労働条件があまり改善されず大きな変化は実感しにくいまです。



神奈川 糸島スミ子さん

県医労連の女性・看護委員会に参加し、「100筆チャレンジャー」に挑戦して3月末に410筆を集めることができました。昨年秋よりちょっとしたきっかけで全厚労ニュースを活用するようになった事も追い風となりました。再雇用の法定限度を超えましたがなぜか再雇用されなかった同僚の問題も取り上げながら、再雇用制度の改善を求めている所です。



大分 河野淳子さん

大分で看護師をしています河野淳子で〜す。みんな仲良く和気あいあいと仕事出来るよう日々頑張っています。組合では次期青年部長として奮闘中です(≥▽≤)

医 労 連 共 済

共済はいつごろできた？

18世紀後半に産業革命がイギリスで起こり、工場等で雇われて働く労働者が誕生しました。当時の職場環境は「昼夜2交替、14時間から17時間の長時間労働」「40度をしばしば超える職場、轟音によって心身共に傷つけられる」「工場の各所には便所も給水設備もない」「職業病が多発する」など、非常に過酷なものでした。

こうした中、「健康で少しでも安全に働きたい」そう願う労働者たちが病気やケガで倒れた仲間を健康な仲間たちが少しずつお金を出し合って助けようとしたのが共済の始まりです。共



済活動を取り組む中で団結を固め、「ケガや病気を減らすため労働条件を改善しよう！」と労働組合に発展していきました。いまもなお人手不足や過密労働が続く医療・介護職場にあって仲間の助け合い運動である共済に取り組みましょう！

読者の声

「値上げの春庶民を直撃」の記事は4月以降に値上げされる主な品目を具体的に書いてありわかりやすくグツと心に突き刺さってくる感じがとてもよかったです。これからも読みたくなるニュース楽しみにしています
(新潟)

「賃上げの春」をみて私たちの生活は益々苦しくなるなあと心を痛めています。わが家には育ち盛りの子どもが3人もいるのでダメージは大きいです。サービス残業をなくすと少しは手

取りもアップするのに…(秋田)
アベノミクス、「景気回復」の実感がありません。値上げがあるのが不安です。全厚労ニュースの見出しでドキドキします。賃上げだってそう簡単にはならないのに値上げは即実行されるのですから…トホホ
(北海道)

アベノミクスで盛り上がりがありますが何が良くなつて、今後何が課題なのか？分かりやすく国民に示してほしい
(静岡)

春闘賃上げゼロです。生活は苦しくなります。病院が潰れると困るので仕方ないのではありませんか
(長野)

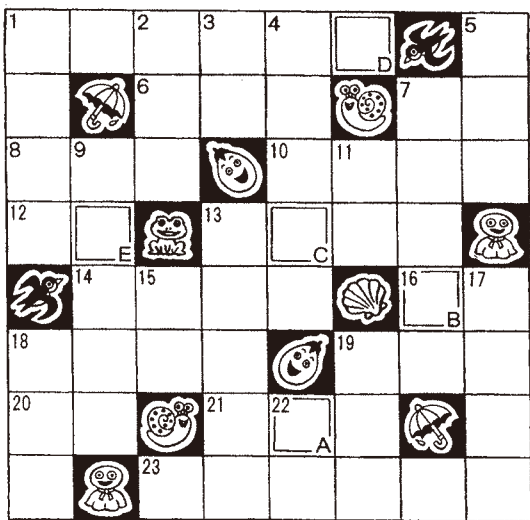
「新入職員のための組合用語講座」の記事は普段当たり前のように口にしている言葉ですが「説明しなさい」と問われたら困難でした。今回の新聞は永久保存版となりました。勉強になりました
(岐阜)

「TPPで医療も危機に！」など毎回最新の話題がわかりやすく解説されていてタメになります
(秋田)

帰って来た各県この人コーナーの徳島の大和さんの弓道をする姿がステキでこの写真でご飯2杯頂きました。これからも力ツコイ人、ステキな人を紹介して下さい
(岐阜)

ザ・クロスワード

出題●モロズミ勝



答え → A B C D E

- ヨコのカギ
- 1 6月19日の「桜桃忌」は誰の忌日？
 - 6 紅色の宝石
 - 7 ハワイの花輪
 - 8 売上高に応じて賃金を支給する……制度
 - 10 非常に真面目
 - 12 ……堀。魚……
 - 13 アルファベットで24番目の文字
 - 14 フランスの古い2拍子の舞曲
 - 16 ぼた餅が落ちてくることもある
 - 18 口を開けてパクリ
 - 19 上下一そろいの衣服
 - 20 鼻が長い
 - 21 不快ではありません
 - 23 梅雨の季節の必需品

- タテのカギ
- 1 奈良や鎌倉などにある大きな仏像
 - 2 体に着るもの
 - 3 ……に短したすぎに長し
 - 4 自動車やオートバイのレース用コース
 - 5 縫い合わせた糸の目
 - 6 金銭登録器
 - 9 感謝やお礼の言葉
 - 11 舞台の前に垂れている
 - 13 富山県の昔の国名
 - 15 俺。自分。私
 - 17 ……やつわものどもが夢の跡
 - 18 胃の左後ろにある内臓
 - 19 名探偵は得意です
 - 22 ネギをしょって来る？

当選者10名様に図書カードを差し上げます
クロスワードパズルの答えと本紙の感想などを添えて下記あて先へお送りください。
当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。(4月号の答え：シユンミン)